



ポラス/中内晃次郎社長

□1001□

ポラスグループは、今年創業50周年を迎える。分譲住宅の中央住宅、注文住宅、プレカットのポラテックを中核にグループ25社で、マンション、リフォーム、不動産仲介、賃貸管理、アフターメンテナンス、ガス水道設備まで幅広く住宅事業を、地域密着型経営で展開する。ポラス建築技術訓練校、ポラス暮らし科学研究所設立など時代を先取りした戦略で、シェアを拡大、連結売上

トップに聞く②

高2000億円企業に成長した。

◇ この5年間で伸びた事業は

「プレカット事業が一番の成長だった。当社は元々高めの計画を立てるが、その高い目標をクリアしてきた。2017年の佐賀工場稼働で国内5工場となり圧倒的なナンバーワンを確固たるものとしている。その次が分譲住宅。契約ベース

社員大工が強さを発揮

「大学新卒を毎年150人採用したが、100人しか採れない。年々難しくなっている」

浦和レッズのトップパートナーになり、採用面でプラスになったのでは

「確かに認知度はかなり高まった。採用面でもサッカー部の学生が来るようになったが、一方で訓練校の採用が非常に厳しい。少子

中規模木造を拡大

分譲住宅は3000棟目指す

思う。大切な生活の拠点の住宅をつくる仕事なのに、建築現場の周辺住民に怒られることも多い。夏は暑いし、冬は寒い。良い仕事をした大工さんを褒める仕組みをつくりたい。本日は国や公的機関にやっていただくのがあるが、今のところ、その動向が少ないので、まずは当社で作ろうと思う。採用が非常に厳しい。少子化が進み、工業高校も統廃合される時代。生徒数が減少しており、地方からの採用が非常に難しい。一人づつが来ており、埼玉までなかなか来てくれない」

対応策は

「会社の魅力づくりが課題。労働時間とか休日の拡充も、一番はやる気を出さないが、一番はやる気を出かにつけていけるかだ」と

「住宅のマーケットをどう見るか

「今年は消費税が増税されるので過去の例からも駆けるので過去に比べて

「住宅のマーケットは縮小している。一番人口の多い団塊の世代もいまや70歳、現場作業は70歳が限界といわれている。国は外国人労働者を考えているが、大工職は難しい。教育・訓練するのに時間がかかるので新しい作り方や、プレカットの先、合理的な作り方を考えるべきだ」

「基本的にはエリアの拡大でなくシェアアップ。シェアが上がってにじみ出るようにエリアを拡大できればいい。分譲、注文、仲介、リフォームの事業も持っているので、総合力でシェアを上げていく」

「今年、創業50周年を迎えるにあたっては

「記念事業やパーティなどは考えていない。5年後、楽しく仕事がやれるよう、仕事の仕組みを変えたいと思う。若い人を育てるために新しいポラスの社風をつくりたい。木材調達拠点としてヨーロッパに拠点設置を計画している。それも木造のオフィスがつくれたらいい。また、リサイクルや地盤改良などの事業も育てたい」

で12年に2000棟に乗せ、15年度2345棟、16年度2219棟、17年2300棟、18年度は2760棟を計画している。用地取得も順調で、3000棟も視野に入った。棟数もさることながら質の高い住宅づくりを目指す」

注文住宅やリフォーム、不動産流通事業は

「注文住宅は1000棟という目標を掲げているが、一進一退が続いており、17年度で683棟、不動産仲介、リフォームも規模は徐々に拡大しているが収益的にはまだまだで、今後の課題の1つと考えている」

そのほかの課題は

「大学新卒を毎年150人採用したが、100人しか採れない。年々難しくなっている」

浦和レッズのトップパートナーになり、採用面でプラスになったのでは

「確かに認知度はかなり高まった。採用面でもサッカー部の学生が来るようになったが、一方で訓練校の採用が非常に厳しい。少子化が進み、工業高校も統廃合される時代。生徒数が減少しており、地方からの採用が非常に難しい。一人づつが来ており、埼玉までなかなか来てくれない」

対応策は

「会社の魅力づくりが課題。労働時間とか休日の拡充も、一番はやる気を出さないが、一番はやる気を出かにつけていけるかだ」と

「住宅のマーケットをどう見るか

「今年は消費税が増税されるので過去の例からも駆けるので過去に比べて

「住宅のマーケットは縮小している。一番人口の多い団塊の世代もいまや70歳、現場作業は70歳が限界といわれている。国は外国人労働者を考えているが、大工職は難しい。教育・訓練するのに時間がかかるので新しい作り方や、プレカットの先、合理的な作り方を考えるべきだ」

「基本的にはエリアの拡大でなくシェアアップ。シェアが上がってにじみ出るようにエリアを拡大できればいい。分譲、注文、仲介、リフォームの事業も持っているので、総合力でシェアを上げていく」

「今年、創業50周年を迎えるにあたっては

「記念事業やパーティなどは考えていない。5年後、楽しく仕事がやれるよう、仕事の仕組みを変えたいと思う。若い人を育てるために新しいポラスの社風をつくりたい。木材調達拠点としてヨーロッパに拠点設置を計画している。それも木造のオフィスがつくれたらいい。また、リサイクルや地盤改良などの事業も育てたい」